

常磐線広野～竜田間運行再開に反対します！

5月10日試運転をストライキで聞いませ

JR水戸支社、労組に
6月1日運行を通告

私たちはJRで働く鉄道員の
労組である動労水戸です。

4月17日、5月末に原発事故
避難者への「帰町宣言」を行
うため「運転再開を要望する」
との檜葉町長からの申し入れ
を受けて、4月22日、JR水
戸支社は6月1日からの広野
～竜田間の運転再開を労組
に通告しました。同時に、運
転再開に向け、5月10日に試
運転を行い、11日から30日ま
で乗務員訓練を行うという日
程を示しました。

JR会社が原発に近づく形
で鉄道を再開し、労働者・利
用者を原発の不測の事故や
放射能による被ばくの危険に
さらすことを、私たちは断じ
て認めません。試運転が予定
される5月10日、私たちはス
トライキで抗議の意思を示し
ます。住民帰還と被ばくの強

制を進める政府とJRに対し、
共に怒りの抗議の声を上げま
しょう！

**労働者・利用者の命と
安全に無責任なJR**

福島第一原発事故の現場で
は、重大事故の再燃と隣り合
わせの作業が続けられていま
す。原発事故の際の避難計画
について、JRはこれまで計画
を策定することすらせずに列
車を運行し続けてきました。
このような中、2月には子ど
もに乗せた「ポケモントレイン」
のいわき～広野間運行を強
行しています。

今回のように放射能がある
地域に鉄道を通すことは前
代未聞のことです。被ばく対
策についても、会社は社員に
線量計を持たせることはして
きましたが、線量値が異常な
値を示した際も「線量計が壊
れているせいだ」として問題に
すらしませんでした。いかな
る事態が起つても、果たして
会社は責任を取ることができ
るのでしょうか？

**帰還を強制する
鉄道再開はいらない！
共に声を上げよう！**

檜葉町内の放射線量は、国
が除染の「長期目標」とする
毎時0.23マイクロシーベルト

(年間1ミリシーベルト)より高い
状態が続いています。町が主催し
た避難住民懇談会では、町民か
ら「目標値を達成してから帰還
を考えるべきだ」「安心して住め
る環境になれば、町民は自然と
みんな帰る。なぜ帰還を急ぐのか」
といった声が相次ぎました(4月
27日付 東京新聞)。

政府や自治体、そして今回JR
が進める「復旧・復興」や「住民帰
還」の動きは、住民の思いや意向
を全く無視しているのではないで
しょうか。鉄道の再開によって、
「避難先での生活再建をあきら
める。線量の高い地域に帰れ」と
いう圧力が高まることは目に見え
ています。家族や地域をバラバラ
にしつつ、原発事故はなかったこと
のようにしようとする国の政策
と、そのために鉄道が利用される
ことは、鉄道で働く者として私た
ちは絶対に認めることはできませ
ん。

労働者・乗客の命と健康を守る
ため、妥協なく闘うことは私たち
労働組合の社会的使命です。5
月10日、私たちの抗議行動への参
加を訴えます！

**竜田延伸絶対反対！
緊急抗議行動**

5月10日(土)

- 13時 いわき駅前街宣
- 14時 運輸区抗議行動
- 15時 抗議集会



「ポケモントレイン」いわき～広野間運行に抗議する組合員(1月31日)

国鉄水戸動力車労働組合

doro_mito@yahoo.co.jp
0246-38-7840 (平支部)